

立春が過ぎ、いよいよ今年度もあと1か月半となりました。春のそよかぜが待ち遠しい中、今回は各学年で3学期に取り組んだ人権学習についてお届けします。

## ◆◇3年生 講演会「労働者の権利」…1月20日（水）

社会人として自立していくにあたり、労働者の権利について学習しました。弁護士さんから、働くにあたってもっておくべき知識や心構え、自分の権利を守るための視点などを教えてもらいました。クイズ形式で問いかけてもらい、一人ひとりが自分に関係のあることとして考え、聴くことができました。権利について学ぶことは、**自分や他者を守る**こと、そして人生に役立つことだと思います。今回の講演をきっかけに、労働のルールや自己の権利について学び、この先も深めてほしいと思います。



【感想より】知らないことばかりでとてもためになった。こういう講座は1年生の時に受けてみたい。／友達が「休むときは代わりの人を探せ」と言われたことを思い出して、身近にある問題だと感じた。／常識や法律を知ることが自分の身を守ることであり、自分は自分でしか守れないので、まずは自分のためにきちんと知識を蓄えていきたい。／「ルールを知らないことは、ルールがないのと同じことだ」という言葉が心に響いたので、自分に関係のあることについて勉強して知識をつけたいと思う。／クイズをした時なかなか答えが分からないものもあったので、自分の労働に対する知識不足も知ることができた。／日本で働く外国人として、これらの情報を知ることが本当に重要で役に立つと思った。安全で快適な労働生活を作るのに必要。／ルールを知ることも含めて責任なので、自分の将来のためにもきちんと知っておきたい。／自分だけだと怖くて言えないかもしれないけど、もし同じ被害を受けている人がいたら団結してみるのも良い。

## ◆◇2年生 人権LHR「統一応募用紙」…1月20日（水）

2年生は、各クラスで「統一応募用紙」（全国高等学校統一用紙）について学習しました。かつて使用されていた「社用紙」と現在の「統一応募用紙」を見比べながら意見を交わし、人権課題に気づいて声を上げることで社会が変わっていくこと、一人ひとりが尊重されるための取組が今も続いていること等を学びました。12月に性別欄のない履歴書が発売されたほか、「近畿高等学校統一用紙」（京都、大阪、兵庫、滋賀、奈良、和歌山にて使用）では今年度から性別欄が除かれたことなど、近年の動向にも触れました。人権課題を身近にあるものとして受けとめてもらえたようです。高校卒業までに、**気づき、考え、表現する力**をさらに高めてほしいと思います。**より良い社会をつくるための力**に、きっとなるはずです。誰もが生きやすい社会が、少しずつ広がっています。

【感想より】「統一応募用紙」は個人をよく見てくれる、配慮のなされた履歴書だと思った。／昔にも今にも先陣を切って進んでくれる人たちはいるんだと感動した。／昔と比べて今は、人権や道徳心を尊重する動きが高まっているのが良く分かった。先人の努力があったからこそその進歩だと思うので、自分たちもより良い社会にするため色々な差別をなくしたい。／志望動機を書く場所が大きくなって、自分の伝えたいことが伝えやすくなったと思う。近畿地区の履歴書は性別の欄をなくして性別についての差別がなくなって、これからは他の地区もそうなると思う。／性別欄をなくす取組を聞いて、徐々に色々な形が認められていく社会の動きが見えて嬉しかった。／今回の授業を受けて、今では非常識なことも昔は常識であったように、今現在の常識も未来では非常識になるかもしれないと感じた。だから、今の一般の、また自身の常識（価値観）だけを信じるのではなく、多様な価値観、考え方があることを受け入れ、自身の視野をより広げていきたいと感じた。／中学の時にも学んだが、こんな話があったこと、実際に差別の被害に遭った人がいたことは、忘れてはならないと思う。次に動くのは自分だ。／普段からあたりまえに生活している中でもおかしいと思える鋭さを身につけるのは重要だと思った。／今では「履歴書」には差別につながる項目はなくなった。しかし、僕らの意志次第で後戻りもするし、前進することもあると思う。これまで闘ってくれた人々のためにも、後戻りせず、良くしていきたいと思う。／社用紙を使っていた時代の人たちは、どんな気持ちで書いていたのだろうと思った。自分たち一人ひとりが声を出して、この世の中の変だなどと思う部分を改善していきたい。／この履歴書の変化が、世界の不自由も力を合わせれば変えられるということを教えてくれた。／与えられたものを鵜呑みにせず、これが本当に正しいのか、より良いものはないのか、考えていきたい。

### ◆◇1年生 人権 LHR「ユニバーサルデザイン」…1月27日(水)

身近な人権課題に気づくこと、周囲への配慮を意識することをテーマに「ユニバーサルデザイン」の学習をしました。すべての人々が社会に参加し、自由に行動し、安全で快適に生活できるような街づくりが進められています。誰もが過ごしやすい街にしていくには、設備や環境が整えられるのと同時に、一人ひとりが知り、気づくこと。そして、一人ひとりが「みんなが過ごしやすい場所にしよう」と意識して行動することが必要です。みなさんには、**誰かを救う側の人になってほしい**と思っています。家庭や地域、学校でお互いに「やさしさ」を配っていけるといいですね。



【感想より】知っていると思っていたマークが全然違う意味だったので、知れてよかった。知らなかったマークも知れたので、街で見かけたら周りをしっかり見て配慮していきたい。／意味が分かって初めて大切さが分かった。／今までユニバーサルデザインについて考えることがなかった。普段何となく生活しているけど、調べたりよく考えてみたりすると、意外といろんなところにあると気づいたので良かった。／一部の人が使いやすくなるだけでなく、生活している人全員が使いやすいという点が良いと思った。また、困っている人たちから思いを聞くことによって、より良い社会をつくることができるのではないかなと思った。／自分にとっては何気ないものでも、誰かにとってはものすごく大切なものだと思った。／これからももっとたくさんの方にユニバーサルデザインが使われれば良いと思った。私生活でもユニバーサルデザインを探したい。／バスの中にヘルプマークに関する張り紙があったので、自分も行動に移したい。／学校にエレベーターがあった方が良く思う。骨折した子が階段をのぼるのを見たことがあるけど、辛そうでした。

※これらのマークを知っていますか？（ぜひ意味を調べてみてください）

